

理学療法士

理学療法士（Physical Therapist (PT)）は病気やケガ、高齢や障害などによって運動機能（体が動くしくみ）が低下した、または低下しそうな人々に対して、運動機能を良くする職種です。体が動くしくみに詳しい医療の専門職です。

理学療法士の仕事内容

理学療法士の仕事は理学療法を行うことです。理学療法は「運動療法」と「物理療法」からなります。「運動療法」では、体を動かすために必要な体のしくみ（筋肉の力、関節の動き、柔軟性、バランス能力、心臓や呼吸の働きなど）を高めます。「物理療法」では、温熱、電気、水、光線などを用いて、体を動かしやすくします。さらに日常生活上の動作をやりやすくする練習をしたり、今動いている体が低下しないよう予防したりします。

理学療法士に向いている人

第一には、理学療法士の仕事と社会の変化に関心を持ち、学び続けられる人です。社会は常に変化し、理学療法士に必要な知識・技術もまた日々新しくなるため、生涯にわたって勉強を続けなければならないからです。第二には、さまざまな人々を理解しようとし、良い人間関係とコミュニケーションを築こうとする人です。理学療法の対象者には、自分とは異なる年代、性別、社会経済的環境、文化的背景を持つさまざまな人がいるからです。

理学療法士になるには？

理学療法士は国家資格であるため、国家試験に合格する必要があります。国家資格とは、国が法律で定め、国などが認定するものです。

高等学校卒業

大学

短期大学

専門学校など

文部科学大臣指定の学校、厚生労働大臣指定の理学療法士養成施設（3年以上）

理学療法士 国家試験

理学療法士

保健医療大学では、研究をより深く学ぶための大学院を設置

理学療法士の国家試験を受けるためには、まず、理学療法士を養成する学校（養成校）で、理学療法の知識と技術を身につける必要があります。養成校には4年制大学、短期大学（3年制）、専門学校（3年制、4年制）、特別支援学校（視覚障害者が対象）があります。より高度な専門的知識を身に付けたり、研究職を目指す人は大学院（修士課程、博士課程）に進学する人もいます。本学は4年制大学であり、大学院も設置しています。

理学療法士の活躍の場

病院 診療所 高齢者施設 障がい児・者施設 リハビリテーションセンター 行政機関など

Q どんな中学生でしたか？

A

勉強が得意ではありませんでしたが、自分の興味のある分野に関しての勉強は好きで、英語ばかり勉強していました。

A

バスケット部に所属していました。部活は忙しかったけど、入りたい高校があったので、勉強も手を抜かずに頑張っていました。

Q 中学生の頃になりたい職業はなんでしたか？

A

リハビリテーション職に就くこと

A

理学療法士

Q いつ頃に医療職を目指すようになりましたか？そのきっかけはなんですか？

A

中学2年生の、職業体験で、理学療法士に興味を持ちました。

A

中学一年生のときです。部活で怪我をして理学療法士の方にすごく支えてもらったことがきっかけです。

Q 保健医療大学のいいところはどんなところですか？

A

少人数で先生との距離が近いこと。また、同じ学科で協力してテストや課題を乗り越えること。

A

少人数制なので学科学年の壁を越えて仲がいいこと。先生との距離も近いので熱心な指導を受けることができること。充実した設備で学習することができること。

Q 中学生のみなさんへひとこと

A

学ぶことは多く、大変なこともありますが実習などを通し患者さんと関わる中で医療職の楽しさを感じることができます。

A

医療職は人を支えることができる素晴らしい職業だと思っています。ぜひ一緒にこれからの社会を支える医療従事者になりましょう！